



REINANZAKA SCOUT CLUB



2021年
11月1日号

発行：霊南坂スカウトクラブ／日本基督教団霊南坂教会内
〒107-0052 東京都港区赤坂 1-14-3
ホームページ <http://reinanzaka-sc.o.oo7.jp/>

No. 57

「BS時代の思い出」

高橋弘長



(スカウト歴)
1951年
東京第4隊入隊。
少年隊副長、
年長隊隊長。
慶應ローバークルー
(準スカウト)

志水功さんが6月に逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます

私が昭和26年東京第4隊へ入隊してから70年経ちました。昭和40年に年長隊の隊長を辞めるまでの14年間、その間所属した大学ローバーの4年間、大勢の方々にお世話になりました。現役を退いて一OBとして社会生活を送ってきたこの半世紀余の間も、折りにふれてのスカウト仲間の友情と好意に心から感謝しているこの頃です。

入隊は中学1年の時、渡邊澄さんに誘われました。同年では与謝野馨さん(衆議院)、石田耕司さん(国土計画)、安積発也さん(国連)がいました。皆さん社会で大活躍された方々です。

スカウト仲間や諸先輩の思い出は尽きませんが、一番お世話になったのは私が少年隊副長だった時の隊長飯田貞雄さんです。ともすれば離れがちになる私をスカウト活動に引き寄せてくれました。

当時教会の庭で訓練が終わると、鐘楼の上にある小さな部屋で隊集会を行うのが常でした。教会の玄関に入ると二階の回廊へ上がる階段があり、回廊の端に鐘楼への階段入口がありました。隊員がどたどたと玄関から階段を駆け上がって行く様子を飯田隊長は上の回廊からじっと見ていました。そして集会での開口一番は「今日玄関の靴拭マットで靴底を拭いたのは高橋副長だけ。皆んな見習うように！」でした。吃驚した事を今でも覚えています。

昭和34年、滋賀県饗庭野での日本ジャンボリーの事でした。私はジャンボリー直前に大学のワンダーフォーゲル部の夏合宿があり、合宿場所の青森県八甲田山から饗庭野に直行しました。そしてキャンプサイトから一步も出ずに全期間食事当番を勤めました。飯田隊長の副長としてジャンボリーの準備に貢献出来なかったことのお詫びとして皆の嫌がる食当を引き受けたのでした。その後ワンゲルはスカウト活動に専念するため退部しました。

昭和35年、少年隊の山中野営場での夏期キャンプでのこと。小雨の朝、山中湖の対岸へ船で渡り下船の際、棧橋に飛び移ろうとして船の手摺にポンチョの裾がからみ、山靴を履きザックを背負ったまま湖へドボン。一瞬もう駄目かと思いましたが、一旦水底まで沈み足でけて水面に飛び上がったところ、手を伸ばせという船員の声が聞こえ、すぐ手をつかんで引き上げてくれました。しかし預かって首から提げていた飯田隊長の大切なカメラ(キャノン)も水没してしまいました。キャンプに帰って事情説明しても飯田隊長は何も言わず、私の無事を確認しただけで、黙ってカメラを修理に出しに行きました。大変ご迷惑をかけたお粗末な出来事でした。

少年隊副長も年長隊隊長も飯田さんの推挙があったのだと思います。しかし申し訳ないことに年長隊隊長は仕事の関係から2年で退任することになりました。飯田さんは後に山梨大学教育学部の教授に、また日連では理事、中央審議会議員などに就かれましたが、55歳の若さで亡くなりました。飯田さんのご冥福を心からお祈り致します。

今も自分にとって「ボーイスカウト」とは何だったのかと考えることがよくありますが、私にはスカウト活動で知り合った方々との交友という大変貴重な財産が出来ました。そして卒団して半世紀以上経った今でもスカウティングを忘れずに、「一日一善」と「備えよ常に」を実践できることを大変有り難く感じています。

The Scout Motto is BE
PREPARED which means you
are always in a state of
readiness in mind and body
to do your DUTY.



バーデン＝パウエル卿の言葉
スカウトのモットーは「そ
なえよつねに」である。それ
は、いつでも自分のつとめを
果たせるように、心と体の準
備をしておく事である。

ボーイスカウト・ガールスカウトの活動

「非常事態宣言下でのオンライン活動でも
成長するカブスカウト達」

カブ隊 隊長 山菅裕之

新型コロナウイルス感染症拡大の感染拡大という未曾有の事態に直面し、皆様、大変な日々をお過ごしのことと存じます。非常事態宣言下における、カブ隊の状況、苦勞している点などをご報告いたします。

非常事態宣言下、カブ隊はオンラインでの活動を開始しました。オンラインでの活動を開始した当初は、保護者の皆様に接続準備などのご負担をお掛けしている点、ご家庭によって設備や回線のご準備が整っていない点、まだまだ幼さのあるスカウト達が画面越しで長時間の集中力は継続できない点など、本当にオンラインでの活動を継続すべきなのか疑問を持つこともありました。

しかしながら、保護者の皆様のご協力、スカウト達の新しい活動方法への順応性、私達リーダーもオンラインで意義のある活動ができるように試行錯誤することで、オンラインでの集会を継続的に行うことができました。

最近の活動では、私達の想像以上に、オンラインのシステムを十分に使いこなしていますし、オンラインならではの活動をスカウト自身が考えて、実施することができています。具体的には、オンラインだからこそ、自宅で観察している植物や、収集しているコレクションの実物を見せながら発表もできます。また、画面に集中できることから、自然保護などのプログラムをクイズ形式で行うと、どんどん自身の意見を言ってくれますし、集中していることで非常に記憶もしてくれます。小学校などがオンラインになったことでオンラインに慣れてきたスカウトも多いですが、新しい活動方法への順応性に驚かされます。

一方で、苦勞している点が無いわけではありません。正直、オンラインでの活動はできることが制限されてしまいます。縄結びを実際に縄を使って指導することはできませんし、工作を一緒に行って、小刀やのこぎりの使い方を教えてあげることもできません。非常事態宣言下では、野外活動、具体的にはハイキングやキャンプもできません。リーダーとしては、十分な活動ができないことへのもどかしさを持ち続けていました。

非常事態宣言下でのオンラインでの活動は、スカウトにとってもリーダーにとっても新しい気づきを与えてくれました。しかしながら、やはりスカウト活動は対面で行うことが一番だと感じ、当たり前のようにできていた対面での活動に感謝の気持ちが大きくなりました。今後とも皆様のご支援とご鞭撻を宜しくお願い致します。

テンドーフット部門 ブラウニー部門
正リーダー 備後 千春

集会内容は、お菓子作りやクラフト、各自調べたことの発表など様々なことに挑戦しています。先日のオンライン集会では、好きな国・行ってみたい国について発表してもらいました。スカウト自身が選んだ国は、ベトナム、エジプト、イタリア、シンガポール、韓国、カナダ。今は難しいですが、スカウトたちが高校生になるころには海外キャンプへの参加も可能になるでしょう。色々制限がある中でも、スカウトたちはしっかりと自分たちの夢を描いています。その夢を実現できるよう、少女たちの支援を継続していきたいと思えます。

ジュニア部門 正リーダー 鈴木充代

オンライン集会では、ラップの芯と竹で角縛りや筋交結び、メスティン(四角形飯盒)のシーズニング方法とメスティンで蒸しパン作り、鍋やボール1つで作れるナポリタン、ストローで北欧飾りヒンメリクラフトなどしてきました。パワポにまとめた旗や刃物の扱い方を画面共有でわかりやすい工夫をしています。紐結びの動画を作成しYouTubeにアップし何度も復習できるようになりました。先週は4団出身者でノルウェー在住の山岸さんからお話を聴きました。子ども2か月、大人4週間の夏休みに宿題もなしと聞いて「羨ましい」と日本との違いを感じました。オンラインだからできる集会でした。

シニア・レンジャー部門

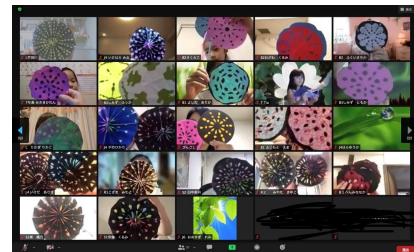
シニアリーダー 枝迫七海

部活や学業も忙しい年代ですが、普段の集会では6~7名の出席があり、雑談が始まると話題に尽きません。今年度はバッジブック(集会企画、国際理解と文化、経済とお金、SDGs理解など)に積極的に取り組んでいます。残念ながらほとんどオンラインでの活動ですが、逆にオンラインだからこそ繋がることの出来る他県・他団との交流や都連&日連のイベントにも参加をし、団の活動に限る事なくスカウトの可能性を最大限に発揮出来るよう支援しています。

全部門合同集会

「オリジナルじゃんけん、母の日クラフト、ボンボン作り」と企画から当日の運営までシニアレンジャーだけで行いました。準備万端だったので楽しい集会でしたが、空き時間の計画の必要性も感じていました。今は縦割り班での私たちの国作りが中断しています。対面になったら国別対抗オリンピックなどする予定です。GS群馬県4団から「〇〇県4団と繋がろう」企画の一つとして素敵な団の紹介冊子が贈られてきました。ボランティア活動やSDGsの学びと発表など活発な団です。私たちは折り紙花火を作成し、画面いっぱい綺麗な花火を咲かせ、返信用の冊子の1ページにしたいと思えます。

4月からパラリンピックのトーチキスにも参加した108団今村リーダーに集会をお手伝いいただき助かっています。



志水功さん、霊南坂教会で発足した東京第4隊（現港第1団）の初めてのスカウトの一人で私の三年年長のスカウト。隊のソングマスターの存在で特筆することは「団歌（神と国とに）」や心に沁みる混成四部の「いこい（るり色の）」を後に作詞作曲され、また「清水のせせらぐ」を作曲、飯田貞雄兄が作詞のスカウト、リーダー15名の名前の入ったこの歌を愛唱した記憶が残ります。

志水功兄の胸ポケットにはいつも「音又（おんさ）」が入っており、スカウトソングを斉唱するとき志水兄の耳に音又が近づいて始まりました。

1950年当時、日本連盟でまだシニア隊の設置がない時代、年長の荒垣恒英、今田富士雄、飯田貞雄、志水功兄など、小崎忠雄兄を班長に選び年長班として子羊（ラム）班を立ち上げてシニア活動を開始、特にウクレレを活かした活動の中心には志水兄が居られました。

当時、東京連盟ではソングは東京第4隊と認められ、テレビの実験放送の時代からNHKや民放に出演できたことは志水兄に負うところが多く感謝しております。

また、1952年に日本連盟でカブ隊、シニア隊の設置が認可され、翌53年4月に葭原勇隊長の元で霊南坂教会でのカブ隊発足が決まり、志水兄に隊長の白羽の矢。その下で遠山兼宏兄と私がお手伝いすることで準備が始まり、翌54年6月にカブ隊が発足しました。

1月に四谷のイグナチオ教会で開催された指導者講習会（カブ指導者補講）に志水兄と共に5日間の講習を受け“いつも元気”のカブ活動のことを学んだことは忘れることはできません。“いつもげんき”を合言葉に集会の多くは教会の園庭を離れて近くのスウェーデン大使館の跡地。広い所で藪や崖もあり、ベースボールを初めカブ隊には持って来い環境で古矢紘一、万石俊夫、真木壮一郎（マイク真木）君などの顔が浮かびます。

翌55年4月、志水兄が獣医として北海道に赴任することとなり、思い掛けない隊長の大役が私に回ってきました。その際に志水兄から一冊の大学ノートが渡され、その中にはひとり一人のスカウトの進歩記録が克明に記されており、隊長の役割と責任の重さを教えられました。このことを契機に70年近くにわたりスカウターの道を歩ませていただいたことを志水兄に心から感謝いたします。

謹んでご冥福をお祈りいたし、神様のみ許でゆっくりお休みください。



1953年



2020年

いこい

志水 功 作詞作曲

キャンプの歌

飯田貞雄 作詞
志水 功 作曲



「自動車の未来について」



(スカウト歴)
1962年9月
東京第4団入隊
カブスカウト、ボーイス
スカウト、シニアスカウト
を経て、
1974年3月退団

大学1年のとき、当時の東京第4団を退団しました。大学では流体工学を収め卒業し、自動車レース活動をしたあと、30歳で執筆活動に入りました。90年代から電気自動車(EV)に関わるようになり、今日に至ります。取材範囲は広がり、エネルギーや食糧、そして人口問題にも目を向けています。

さて主題ですが、菅義偉総理大臣が脱炭素を明確にしたことで、エンジンからモーターで走るクルマへの転換がより強く求められています。そして、電気自動車(EV)と燃料電池車(FCV)が何かと話題のぼります。しかし私は、EVこそ普及すべきと考えます。その理由をお話します。

環境問題は、1960年代ごろから社会や暮らしを苦しめてきました。当時は、「公害」といわれる発生地域の課題でした。それがまだ解決したわけではありませんが、いま世界的な懸念となっているのは温暖化による「気候変動」です。これは地球規模の環境問題です。

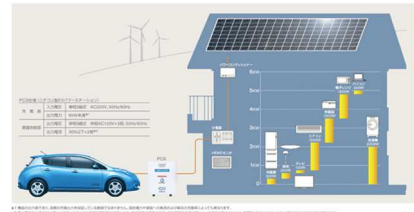
最大の要因は、人口問題にあります。19世紀末となる1900年の世界人口は約16億人でした。現在は、77億人以上でしょう。20世紀の100年と21世紀に入ったの21年で、人間の数が4.8倍以上に増えたのです。どのような生き物も、その数が5倍近く増えたら何らかの問題を起こすでしょう。それが、環境問題の正体です。

そうしたなか、石油という地下資源を燃やして使うエンジン車が増えることは、環境をますます悪化させます。したがって、排出ガスのないEVやFCVへの期待が高まっているのです。

モーター駆動への期待は、環境問題だけではなくありません。自動運転の実用化も、モーターを使った方が、より精度高く、実用化の道が拓けると考えられます。なぜなら、モーターはエンジンの約100倍速く応答できるからです。加減速の指令(アクセル操作)をしたとき、素早く反応し、走行状態を変えられるのがモーターです。その結果、交通の流れに乗りやすくなったり、緊急時の急停車もしやすくなったりします。

ことに緊急時において、モーターは発電機と同じ機構なので、それを活用すればブレーキとは別に減速を強める効果を期待できます。発電の際の磁力が減速を促し、同時に走行用バッテリーに充電します。それはエンジンブレーキのような感覚ですが、

御堀直嗣



電流の調整次第で、加速も減速もモーターだけで自由にできるところが、エンジン車と大きく違う点です。そしてそれらが、自動運転に適しています。

そのうえで、FCVではなくEVの普及がより実効性を高めることについて説明しましょう。

EVは、家庭で充電できます。また、装置の設置は必要ですが、停電の際にはEVから家庭へ電力を供給することができます(解説図を参照)。つまり、駐車しているときにも役立つのがEVです。FCVも、災害時の停電で電気の供給は可能ですが、日常的に電力需給の一部として暮らしとつながることができるのが、EVの利点です。

たとえば自宅に太陽光発電を設置すれば、EVに充電する電気もそこから得られ、同時に、家庭で使う電力が少なければ一時的にEVに貯めておき、必要に応じてEVから賄うことができます。曇りや雨が続いて天候がわるく太陽光発電が十分に機能しなくても、晴れた日にEVに貯めておいた電気を使えます。EVには、3~4日分の電気を貯めておけます。

この発想を拡大していくと、複数のEVが近隣で使われれば、地域の電力需給を調整することが可能になります。そこには人工知能(AI)の活用が必要になるでしょう。これから期待される新しい技術を応用した、より快適で安心な暮らしの支えにEVはなっているのです。それは、若い方々の仕事への意欲も高めるのではないのでしょうか。

そのような送電網の有効活用を、スマートグリッド(賢い送電)といいます。これを地域から、さらに全国へ広げていけば、国全体がEVと暮らしをつなげた電力需給網で覆われ、スマートフォンをはじめ暮らしの基盤となっている家庭電化製品を不自由なく使えるようになるでしょう。

また、自動運転と通信事業の合体により、各自がクルマを持つのではなく、共同利用するクルマがスマートフォンひとつで自宅の玄関まで送迎にやってくる時代が訪れるかもしれません。いま、乗用車と商業車をあわせて世界に約13億台あるとされていますが、それが半分になっても、消費者の移動の利便性は共同利用によって確保されるでしょう。台数が減れば、世界で懸念される希少資源の有効活用にもなります。

そう考えれば、EVの普及は電気を安心して使いながら快適に暮らせる未来の生活を築くことにつながっていきます。ガソリンスタンドという社会基盤と同じ水素スタンドに依存するFCVとは、そこが違うのです。

「カナダでのガールガイド活動」



カナダのバンクーバーに移住して、早 25 年が過ぎました。知り合いの居ない異国での生活はガールガイド (GG) の

グループ探しから始まりました。馴染みのある分野だったら、つたない英語でも大丈夫だろうと思ったのですが、カタカナ英語で覚えていた歌は、通用しませんでした。それはさておき、何とか今でも GG のリーダーとしてご奉仕させて頂いていますが、これからお話しするのは、私が体験したこちらのガイド活動の事です。日本でスカウト経験との違いなどは年代の差はもちろん、個人的主観ですので、必ずしもカナダだからというものではないということを予めお断りしておきます。

ガールスカウト (GS) 言えば、キャンプですよね。私もキャンプが大好きで、火起こしや竹を使ったクラフトに全力を注いだものでした。ところが、こちらで私が行ったキャンプでは、火起こしはキャンプファイヤーの時だけ。食事はプロパンガスのキャンプストーブを使います。鍋の底に洗剤を塗ることなんかもちろんしません。ある時、親しくしていたリーダーに日本から持って帰った飯盒をお土産にあげて、これでご飯をかまどで炊くんだ説明したら、目をまん丸くさせて「No Way」とびっくりしていました。食事は折り畳み式のキャンプテーブルを使ったり、椅子に座ったりしてします。竹で蛇腹を組んだテーブルなんて見たことがありません。テントもあの重いキャンバス地じゃありません。



(スカウト歴)

1965 年母に連れられて第 4 団のガールスカウト A に入団。針替団委員長に支えられながらスカウト時代を過ごし、上級スカウトまで続ける。その後ブラウニーからレンジャーまで全部門のリーダーを経験する。中村浩子リーダーや中谷明子リーダー、川リーダーなどのエネルギーに圧倒されながらも楽しいスカウト時代を過ごす。

竹本裕子



GS では軍手はキャンプの個人備品として必須でしたが、それを使っている人はゼロです。皆さん頑丈な手をしているのでしょうか。毎朝「点検」なるものがあって、きちんと制服に着替えてサイトやテント内の整理整頓が点検されましたよね。そんなことこちらではしたことはありません。

それと、これはキャンプとは関係ありませんが、リーダーや集会のお手伝いをするボランティアになるには所轄警察から「無犯罪証明」をもらわなければなりません。2-3 年前からオンラインで出来るようになりませしたけど、以前は警察署に赴いて面倒な書類の記入をしなければなりませんでした。

リーダーの確保が年々難しくなっているのは日本も同じでしょうが、色々な手続きが煩雑になっていて、それも一因ではないかと思えます。

今回のコロナ禍では、昨年 4 月早々には室内・屋外問わず、対面式での集会が禁止され、オンラインに切り替えるようにカナダ連盟から指導がありました。それから間もなく、オンライン用の集会やクラフトアイデアが連盟や支部の SNS にアップされ、時代の流れを感じました。私が今受け持っているブラウニーは、どちらかと言えば経済的に余裕のある地区に所属しているので、コンピューターが無いなどという問題はなかったのですが、参加者は減りました。学校もオンラインになっていたのも、親御さんとしてはこれ以上コンピューターの前に座らせたくなかったかもしれませんが、7.8 歳の子供を 1 時間以上つなぎとめるのは難しかったです。

年が明けてからは屋外での活動が認められましたが、参加者は 2 メートルの間隔を保つこと、そして歌を歌ってはいけない、という制限がありました。フラフープを使って立ち位置を決めたり、工夫はしましたけどあまり効果がなく、結局「離れて！」と叫んでいました。

歌を歌わないガールなんて考えられません。そこで私たちが取った苦肉の策は、ハミングです。開会式と閉会式の歌もハミングでしました。だんだん可笑しくなってきた、子供たちもそれなりに楽しんではいましたけど、やっぱり変でした。

9 月から新年度が始まります。今まで使っていた小学校のお部屋がコロナの関係で使えないので、新しい場所が見つかるまで屋外活動、或いはオンラインになります。一日も早く元通りになってほしいと願っています。

霊南坂スカウトクラブ 告知板

【月例集会】

※**当面オンラインと致します**

月例集会にぜひご参加ください。1950年代～2000年代に 現役であった紳士淑女の参加を お待ちしています。

現役時代に戻り・話して食べて・あなたのパワーで楽しい集会に したいと思えます。

原則毎月（8月は休）

第2水曜日

（祭日に当たる時は第3水曜）

19時～21時

地下鉄日比谷線 神谷町駅地下の「エリー(永利)」で開催いたします。



（月例集会風景）

・お問い合わせは下記宛てにお願い致します。

taakos@nifty.com (西郷)

usui4669@hotmail.co.jp (白井)

・住所変更、メールアドレスの変更などありましたら、霊南坂教会内スカウトクラブ宛またはeメール（上記）および右欄のWEB URL ホームページのトップ頁下にある「問い合わせ」の”投稿・連絡メールへ”からクラブ事務局にお知らせ下さい。

【霊南坂スカウトクラブ役員】

会長	西郷崇子
副会長	田中新二
会計	白井純一
総務	高玉 大 戸田健次郎
書記	檜垣君子 杉田憲彦
通信	西谷芳美 小田島典子
広報・団 会報	矢澤宏子 渡辺 博
H.P	白井純一
教会・団	内藤正樹 ボーイスカウト団委員長 古谷久代 ガールスカウト団委員長
監査	日下部英一 柳 健一



【日本のガールスカウト運動は今年100周年を迎えました！ボーイスカウトは来年100周年を迎えます！】

ガールスカウトは100周年を記念して「わたしの声から広がる世界」をテーマに10月9日・10日にセレモニー「国際ガールズメッセ」を開催します。ボーイスカウトは「より良き世界を目指して」創立100周年を迎える2022年1月1日～12月31日を100周年記念期間としてセレモニーその他の行事を計画しています。

【ステキな嬉しいニュースです！】

世界に蔓延する、コロナ禍の中で開催されたTOKYO2020のオリンピックとパラリンピックは沢山の感激と感動と興奮の中無事終了しました。

1964年の大会でもボーイスカウト、ガールスカウトが奉仕いたしました。今回も表舞台での活躍が報じられることは少なくても各地で活動しておりました。パラリンピックの閉会式のクライマックスの大トリで”What a Wonderful World”を手話パフォーマンスの我らがスカウトクラブのメンバー(GS OG)の長井利美さんが立派に務められました。



【スカウト催事予定】

- ・教会バザー 中止
- ・GS・SC SDGs シンポジウム
11月13日…15時～17時30分
- ・BS・GS 合同クリスマス礼拝
12月11日…時間未定
- ・教会クリスマス礼拝
12月19日…10時15分～
- ・キャンドルサービス
12月24日…時間未定
- ・BS 餅つき
2022年1月15日
- ・スカウトサンデー礼拝
2月20日…10時15分～
- ・スカウトクラブ総会予定
2月20日…13時～15時
- ・イースター
4月17日…10時15分～

【世界スカウト機構 (WOSM) とガールガイド・ガールスカウト世界連盟 (WAGGGS) は2021年のノーベル平和賞にノミネートされました！】

2021年度ノミネートされたことを誇りにし今後もスカウティング励んでゆきましょう。

会費の納入をお忘れではないですか？

スカウトクラブは現団への支援、会報印刷、通信費など、皆様の会費とバザーの収益金、賛助金で運営しています。毎年の納入をお願いいたします。

年会費	3000円/年
家族会員	2000円/年
入会金	1000円/入会時のみ

振込先「ゆうちょ銀行」

00170-4-765234

他行からの振込みの場合は下記宛てにお願い致します。

銀行名 : ゆうちょ銀行
店名(店番): ゼロイチキョウ(019)
預金種目 : 当座
口座番号 : 0765234
口座名称 : 霊南坂スカウトクラブ

【編集後記】

BS/GS 今昔話題満載